

## 第10回 地震・地震動検討会 議事録

1. 開催日時：平成20年 1月 21日(月) 10:00～11:40

2. 開催場所：日本電気協会 B会議室

3. 出席者：(順不同, 敬称略)

耐震設計分科会：柴田分科会長(東京大学名誉教授) (計1名)

委員：翠川主査(東京工業大学), 工藤(日本大学教授)、久田(工学院大学教授)

久野幹事・渡部(中部電力), 佐伯(北海道電力), 大竹(東北電力), 高橋(東京電力), 小笹(北陸電力), 阿比留(中国電力), 高橋(四国電力), 赤司(九州電力), 阿部(日本原子力発電), 佐藤(電中研), 壇(清水建設)

(計15名)

代理出席：岡崎(関西電力・伏見代理), 平原(電源開発・仲田代理) (計2名)

オブザーバ：八代(東京電力), 花田(日本原子力技術協会) (計2名)

事務局：荒木(日本電気協会) (計1名)

4. 配布資料

資料 No.10-1 第9回 地震・地震動検討会議事録(案)

資料 No.10-2-1 JEAG4601-2007 基準地震動策定・地質調査編の概要

資料 No.10-2-2 JEAG4601-2007 原子力発電所耐震設計技術指針 基準地震動策定・地質調査編

資料 No.10-2-3 第1回地質・地盤に関する安全審査の手引き検討委員会議事メモ(案)

資料 No.10-3-1 JEAG4601-2007「第1章基準地震動策定」今後の改定の進め方について(案)

資料 No.10-3-2 新潟県中越沖地震による東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所への影響を踏まえた検討に関する原子力安全委員会への報告及び耐震バックチェックに反映すべき事項(中間取りまとめ)の原子力事業者等への通知について。

5. 議事

(1) 代理出席者及び前回議事録(案)の確認

事務局より、本日の代理出席者2名について、規約に基づき翠川主査の承認を頂いた。代理出席を含む出席委員は17名であり、委員総数の2/3以上の出席であることが確認された。

また、事務局より前回議事録(案)について紹介を行い、出席者全員の賛成で了承された。

( 2 ) 主査の選任

翠川主査より委員を退任される旨のご発言があり、規約に基づく主査選出手続きを行った。主査候補として翠川委員より工藤委員が推薦され、その他候補者の推薦がないことを確認した後、挙手による決議を行った結果、出席委員 17 名のうち候補者本人を除く全員の賛成で、工藤委員が主査に選出された。その後、工藤主査より、副主査に久田委員、幹事に久野委員が指名された。

( 3 ) 地質・地盤に関する安全審査の手引き検討委員会(1/16)での説明報告

幹事より資料 No.10-2-1 ~ 3 により手引き検討委員会(1/16)の報告が行われ議論した。主な意見を以下に示す。

- ・中立性の指摘については、学術的な面からと委員構成の面からの二つの見方がある。
- ・我々としては指針を受けて進めるべきではあるが、原則、地質・地盤に関する安全審査の手引き検討委員会と意見交換するという立場ではない。

( 4 ) JEAG4601-2007「第 1 章基準地震動策定」今後の改定の進め方について

幹事より資料 No.10-3-1 により今後の改定の進め方について説明が行われ、先行発刊する基準地震動策定・地質調査編は、内容が確定し変更できないが、今後、建物・機器設計と含め合本する予定であり、この中で中越沖地震等で反映すべき知見等が固まれば、反映していく予定である旨の補足説明が行われた。

主な意見を以下に示す。

- ・基準地震動策定のためには、地質調査の実施方法と整合を図るために、本検討会と土木構造物検討会の情報交換が必要と考えるが、どのように進めているのか。これまでは、別々の検討会で進めていたが、今後、合同検討会を行う方向で調整を進めたい。
- ・今後の主な検討課題は、震源を特定せず策定する地震動の高度化と基準地震動策定における不確かさの考慮の部分である。

( 5 ) 次回検討会の予定

年度末までに一度開催するが、日時は別途連絡することとした。

以 上